

# 高島市マキノ小学校開校準備協議会 第7回会議次第

日時 令和7年8月21日(木)  
午後7時30分から  
場所 マキノ土に学ぶ里研修センター  
2階集会室

1 開 会

2 準備協議会長 あいさつ

3 今城市長 あいさつ

4 協議事項等

(1) 第6回会議の振返りについて 資料1

(2) マキノ小学校の新校舎の使用開始時期の遅れについて 資料2 別冊資料

5 川島教育長 あいさつ

6 閉 会

## 第6回高島市マキノ小学校開校準備協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年7月29日（火）  
開会 午後7時30分 閉会 午後8時30分
- 2 開催場所 高島市立マキノ中学校 2階被服室
- 3 会議次第
  - 1.開会
  - 2.準備協議会長あいさつ
  - 3.今城市長あいさつ
  - 4.新小学校の校名について
  - 5.今城市長との意見交換
  - 6.その他
    - ・先進地視察研修の実施について
  - 7.川島教育長あいさつ
  - 8.閉会
- 4 出席委員 17名（欠席者6名）
- 5 事務局出席者  
今城市長、川島教育長、饗庭教育総務部長、川原林教育指導部長、保木教育指導部次長、前田教育総務課長、保木学校教育課長、上原学事施設課長、古川学校教育課主監、古谷学事施設課参事、林教育総務課参事、本田学校教育課参事
- 6 会議を傍聴した者 4名
- 7 次第の経過 次のとおり

## 次第の経過

### 1.開会

事務局より、マキノ地区区長等連絡会の会長交代に伴い、西辻委員から木下委員に交代されたことが報告された。

また、資料1（1～3ページ）会議録（要旨）により、協議事項等が報告された。

### 2.会長あいさつ

### 3.今城市長あいさつ

### 4.新小学校の校名について

#### 【説明】 饗庭教育総務部長

資料2（4～7ページ）により説明。7月3日に尾中会長から川島教育長に新小学校に関する提言書が提出され、その後7月22日に開催された高島市教育委員会第7回定例会において新小学校の校名を「マキノ小学校」とすることについて可決されたことが報告された。

### 5.今城市長との意見交換

はじめに、今城市長から新小学校に対する思いが委員に伝えられ、その後委員からも意見や思いが出された。

今城市長からは、

- ・全国から注目され、ここで学びたいと思ってもらえるような学校をつくりたい。そのためには、例えば、地元産木材をはじめとした木をふんだんに使用した校舎にしたい。
- ・躯体が鉄筋コンクリート造で屋根組みが木造という方法も考えられる。
- ・環境省の「エコスクール」といった制度を活用し、環境に配慮した建て方をすると補助金の対象になることもある。
- ・児童だけではなく地域の方々も本に触れ合えることが大事である。ハード面だけではなく学校司書などの人と合わせて考える必要がある。
- ・各学校における児童数の状況を考えると一刻も早く統合する必要があるという認識でいる。
- ・良い学校を建てることと、一刻も早く完成させることの両立は難しい課題であり、令和10年4月に新校舎を完成させることはスケジュール的に非常に厳しい状況である。改めて具体的なスケジュールをお示ししたい。

といった思いが伝えられた。

委員の皆さまからは、

- ・明るい未来を持てる計画が進められるのはすごく良い事であるし、そういった思いを汲んでもらって良い方向に進めていただけてありがたい。
- ・中学校の横に小学校が出来るという話になった時に、高島学園のように小学校と中学校が隣接した小中一貫教育のような形態で小学校6年間と中学校3年間の9年間を連携した形でやっていただけるのはありがたい。
- ・現在、3小学校では、令和10年4月の統合に向けてマラソン大会や修学旅行も合同で実

施している。教職員の共同研究では、子どもが新しい学校生活をスムーズにスタートできるように、教職員が統合を意識するように話している。

- ・前向きに学校の統合の話が進められているので安心している。こども園、小学校、中学校と滑らかな連携をとってもらいたい。
- ・私の気持ちからいうと、令和9年にも統合してほしいぐらいであるが、令和10年4月を目指して進んでいる協議会なので、そこで開校できるような姿を目指していきたい。今の6年生は令和10年4月には同じ敷地にある学校の最高学年となるということで、機運が盛り上がっている。スケジュールを調整していただきながらより良い学校の建設ができるとうありがたい。
- ・スケジュールが大事だと思うが、工事の一部が残っていてもいいのではないかと。子どもたちが工事の様子を見るのも教育になる。
- ・もし工事完了が間に合わない場合、一旦既存の学校に入ることができて、その後新校舎に入る。そういった形がとれるのであれば来年でも再来年でも統合してもらいたい。
- ・新校舎建設のスケジュールを示してほしい。どういったことにどれだけの期間を要するのか、どこを縮められるのかといった議論もできない。

などという意見が出された。

## 6.その他

- ・**先進地視察研修の実施について** 夏休み期間に実施する予定であり、候補地は県内を中心に近隣の府県を検討中。参加者は、準備協議会長、副会長および各部会から数名を予定していることが報告された。

## 7.川島教育長あいさつ

## 8.閉会



# 開校準備協議会だより

令和7年8月21日発行  
開校準備協議会

## ◇ 今城市長との意見交換を実施しました

7月29日(火)に準備協議会第6回会議を開催しました。会議には今城市長も参加され、新小学校に対する熱い思いを伝えられました。その後に行われた協議会委員との意見交換では、市長、委員ともに双方の意見に耳を傾けられ、マキノ地域の子どもたちのためにより良い教育環境が整備されるよう決意を新たにしました。



### 今城市長の思い(要約)

- ・ 全国から注目され、ここで学びたいと思ってもらえるような学校をつくりたい。そのためには、例えば、地元産木材をはじめとした木をふんだんに使用した校舎にしたい。
- ・ 躯体が鉄筋コンクリート造で屋根組みが木造という方法も考えられる。
- ・ 環境省の「エコスクール」といった制度を活用し、環境に配慮した建て方をすると補助金の対象になることもある。
- ・ 児童だけではなく地域の方々も本に触れ合えることが大事である。ハード面だけではなく学校司書などの人と合わせて考える必要がある。



- ・ 各学校における児童数の状況を考えると一刻も早く統合する必要があるという認識でいる。
- ・ 良い学校を建てることと、一刻も早く完成させることの両立は難しい課題であり、令和10年4月に新校舎を完成させることはスケジュール的に非常に厳しい状況である。改めて具体的なスケジュールをお示ししたい。

裏面もご覧ください。

## 委員から出された意見（要約）

- 明るい未来を持てる計画が進められるのはすごく良い事であるし、そういった思いを汲んでもらって良い方向に進めていただけてありがたい。
- 中学校の横に小学校が出来るといった話になった時に、高島学園のように小学校と中学校が隣接した小中一貫教育のような形態で小学校6年間と中学校3年間の9年間を連携した形でやっていただけるのはありがたい。
- 現在、3小学校では、令和10年4月の統合に向けてマラソン大会や修学旅行も合同で実施している。教職員の共同研究では、子どもが新しい学校生活をスムーズにスタートできるように、教職員が統合を意識するように話している。
- 前向きに学校の統合の話が進められているので安心している。こども園、小学校、中学校と滑らかな連携をとってもらいたい。
- 私の気持ちからいうと、令和9年にも統合してほしいぐらいであるが、令和10年4月を目指して進んでいる協議会なので、そこで開校できるような姿を目指していきたい。今の6年生は令和10年4月には同じ敷地にある学校の最高学年となるということで、機運が盛り上がっている。スケジュールを調整していただきながらより良い学校の建設ができるとうありがたい。
- スケジュールが大事だと思うが、工事の一部が残っていてもいいのではないかと。子どもたちが工事の様子を見るのも教育になる。
- もし工事完了が間に合わない場合、一旦既存の学校に入ることができて、その後新校舎に入る。そういった形がとれるのであれば来年でも再来年でも統合してもらいたい。
- 新校舎建設のスケジュールを示してほしい。こういったことにどれだけの期間を要するのか、どこを縮められるのかといった議論もできない。



## ◇ 委員の交代について

7月23日に開催されたマキノ地域区長等連絡会で役員の改選があり、これに伴い委員の変更がありましたのでご紹介します。

(旧) 西辻 忠雄 (マキノ地域区長等連絡会会長・在原区長)



(新) 木下 浩之 (マキノ地域区長等連絡会会長・下開田区長)

(事務局) 〒520-1592 高島市新旭町北畑565番地



高島市教育委員会事務局 教育総務部教育総務課

TEL: 0740-25-8558

Mail: kyoji-somu@city.takashima.lg.jp



『開校準備協議会だより』  
は、市のホームページでも  
見ることができます。



開校準備協議会  
ホームページ

## マキノ小学校の新校舎の使用開始時期の遅れについて

### 1. 概要

令和6年9月に策定しました高島市小中学校再編基本方針に沿って、令和10年4月を目途に、マキノ中学校隣接地に校舎を新築し、3つの小学校を統合した新小学校を開校する計画のもと、地域の方々や学校関係者で構成する開校準備協議会において、協議を進めてまいりました。

小中学校再編基本方針の原案を作成した令和6年4月時点では、校舎の新築に向けて、順調に建築工程が進めば、基本設計および実施設計に要する期間が約1年間、新築工事に要する期間が約2年間と想定し、令和7年4月から令和10年3月までの3年間で、新校舎の完成を見込んでおり、令和7年度の当初予算において、設計業務委託費を計上し、市議会において承認をいただきました。

自然豊かな高島市における校舎の新築にあたっては、木のぬくもりが感じられるよう、可能な限り木材を使用した校舎づくりを進めてはどうか、さらには、厳しい財政状況の中で、校舎の新築については、一旦立ち止まるべきではないかという請願書が提出されるなど、十分な検討が必要となることが重なりましたことから、建築スケジュールに遅れが生じました。

このことから、新校舎の使用開始時期が令和10年4月には間に合わないことが見込まれますが、基本方針で示させていただいた令和10年4月の開校時期は変更せずに、新校舎が使用できるまでの期間、現在の3小学校の内1校舎を仮校舎として使用するなどの対応策を検討しております。

### 2. 工期の見通し

新校舎の使用開始時期 → 9ページのとおり

### 3. 新校舎完成までの対応策

- ① 現3小学校の内1校を仮校舎として活用し、予定どおり令和10年4月に「マキノ小学校」を開校します。（仮校舎の学校は未定）
- ② 子どもたちは仮校舎で学習を行い、新校舎が使用可能となる時期に移転
- ③ 通学や学校運営に支障が出ないように、次のとおり対策を講じます。
  - ・校舎や設備の安全点検
  - ・普通教室や特別教室の確保
  - ・通学手段の確保、通学路の安全確保
  - ・給食や体育など学習活動への支障の軽減 等

### 4. 予算措置

- ① 設計業務が年度をまたぐため、債務負担行為の予算を市議会9月定例会に計上予定
- ② 国の補助金や県の木材利用促進事業の活用も検討します。

### 5. 今後の進め方

次のとおり、こども園・小学校保護者対象の説明会を開催します。

- ・令和7年8月31日（日）13：30～  
マキノ土に学ぶ里研修センター（2階集会室）
- ・令和7年9月3日（水）19：30～  
マキノ土に学ぶ里研修センター（2階集会室）

